

協会第51回(設立50周年)総会

次の半世紀へ歩み進める

協会は6月16日、神戸ポートピアホテルにて設立50周年となる第51回総会を開催。会員、来賓、家族、スタッフなど合わせて320人が出席した。参加者らは協会の半世紀の歩みを振り返るとともに、さらなる発展をめざすことを確認した。



(左) 総会の議事進行を務めた八木秀満副議長(尼崎支部長)
(右) 祝賀会会場は、集まった多くの来賓・会員でいっぱいになった

西山裕康理事長は開会あいさつで、今必要な政治は、社会保障を充実させ、将来不安を一掃して消費を拡大させ、経済成長により社会保障財源を確保する好循環をつくり出すことだと訴えた。そして、協会会員数が7520人と過去最高となったことに、感謝の意を示すとともに、すべての会員と国民のために、医療の充実をめざして努力したいと決意を述べた。

記念講演では、日本福祉大学名誉教授の二木立氏が、「今後の超高齢・少子社会と国民皆保険制度の財源選択」のテーマで講演した。

協会設立50周年祝賀会には、会員や家族らに加えて、神戸大学名誉教授・旧第一外科学教授の齋藤洋一先生、神戸大学副学長の杉村和朗先生をはじめ県下の病院院長や、現職国会議員5氏など各界からの来賓が出席し、半世紀を迎えた協会へ祝意を示した。

祝賀会では、功労者表彰も行われた。表彰者161名の内、尼崎支部からは10名の会員が表彰を受けた。

尼崎支部からの表彰者(敬称略・順不同)

現役役員で25年以上在籍の会員

八木 秀満 増田 理恵 鈴木 克司 高 光重

設立以来会員で80歳超の会員

松井 朝之 大隈 義彦 故・白壁 光弥 松田 和子 伊藤 憲子 多米 久

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

404号

2019年8月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

第48回支部総会・第101回医療と福祉を考える会を開催

あなたが大切と伝えるケア技術 「ユマニチュード®」を学ぶ



林氏(右)は認知症患者が人間の尊厳を失わないよう接することが大切と呼びかけ、映像や実践を交えて分かりやすく解説した

尼崎支部は7月6日、尼崎中小企業センターにて、第48回支部総会、および記念企画として第101回医療と福祉を考える会を開催した。記念企画では「在宅における『優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード』」をテーマに、ユマニチュード認定インストラクター・独立行政法人国立病院機構東京医療センター副看護師長の林紗美氏が講演し、医療関係者ら65人が参加した。

林氏は冒頭に、認知症の有病率の高さや、認知症を100%予防することができないことなどから、これからも認知症がいつそ身近な疾患となっていくと説明した。そんな認知症の患者に対して、あなたが大切な存在であるというメッセージを本人に伝えることこそがケアの仕事であり、人と人との関係性の中で行われること全てがケアであるとした。

(2面につづく)

(1面のつづき)



総会議事では支部活動について活発に意見交換した

クなどがなければ警戒心を誘発してしまうため、こういった技術を活用することで、本人に届く情報は全く違うものになり、感じ方を変えてゆけると報告した。

参加者からは、「具体的な説明が多かったので分かりやすかった。家族にもそのように接してあげられたらと思う」「風呂、口腔ケア、食事の場面でよく悩んでいたが考え方や対策を知ることができ勉強になった。もっとユマニチュードについて学びたい」「コミュニケーションは人間だけができることなのでもっと大切にしていきたい」といった感想が寄せられた。

総会議事では、2019年度活動方針が採択され、役員改選で新任幹事、評議員が選出された(2019年度活動方針および改選後の支部役員、協会役員一覧を次頁に掲載)。

※ HUMANITUDE およびユマニチュードの名称およびそのロゴは、日本およびその他の国における仏国 SAS Humanitude 社の商標または登録商標です。

第 547 回幹事会だより

7月19日(金) 於: 松葉寿司

○ 尼崎支部の会員数

7/19 現在 医科 376 人、歯科 165 人

○ 医療をめぐる情勢と運動対策

当面の支部企画、医療情勢などについて討議、意見交換した。

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。



ケアの際には、「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱が大切であり、これらを駆使することで介護を受けている本人と良い関係を結び、優しさを届けることができるとした。林氏はケア技術の例として、病室に入る時や話しかける前に、ノックをしたり音を出すことが重要だと強調。ノックすることは患者さんとの人間関係を作る最初のきっかけとなり、逆にノッ

兵庫県保険医協会尼崎支部 2019 年度活動方針

1. 経営対策など新規開業医を対象とした懇談会などの開催で、支部幹事会への新規開業医の参加を図るとともに、勤務医会員の拡大にも力を入れ支部活動への参加を促し、幹事会を一層活性化していく。
2. 地域医療・介護を支える現場スタッフの力量向上を目指して、「医療と福祉を考える会」を開催する。
3. 在宅診療や介護保険に関する研究会などを企画する。
4. 医師、歯科医師をはじめ、職員も参加対象とした医科歯科連携に役立つ研究会を企画する。
5. 住民の要望に基づき復興住宅での健康教室や健康と医療について語り合う会を開催する。
6. 職員対象の保険請求事務講習会や接遇研修会などを企画する。
7. 医療や福祉・介護保険等の改善、充実を求める尼崎社保協や民主市政の会など支部加盟団体の活動に積極的に取り組む。
8. 「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に参加し、被害者救済と企業・国の責任追及に取り組む。
9. 会員間の交流を深める文化行事を企画する。
10. 支部ニュースの毎月発行に努める。

兵庫県保険医協会尼崎支部役員(敬称略・五十音順) 19～20 年度

【支部長】 八木 秀満

【副支部長】 綿谷 茂樹(筆頭) 西原 弘道(新)

【支部幹事】 朝田 真司	阿部 勝也	今北 正道	大塚 誠治
木村 祐子(新)	高 光重	合志 明彦	鈴木 克司
高田 正	長谷川吉昭	畠中 輝昭	細見 基信
堀尾 俊治	前田 重人	増田 勉	増田 理恵
町塚 博文	松田 哲一	森川 高司	両角 隆一
山内 道士	山下 秀明		

兵庫県保険医協会役員(敬称略・五十音順) 19～20 年度

【副議長】 八木 秀満

【理事】 西原 弘道

【評議員】 木村 祐子(新)

(予備) 高 光重

(歯科) 阿部 勝也

綿谷 茂樹

高田 正

森川 高司(新)

鈴木 克司

富澤 洪基

長谷川吉昭

山内 道士

畠中 輝昭